

第 54 回全国消防救助技術大会における熱中症対策について

～熱中症ゼロの大会を目指して～

令和 7 年 6 月 1 日、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が義務付けられました。これに伴い、本大会では、熱中症の予防および重篤化を防ぐため、「熱中症（疑い）が発生した場合の対応要領」を作成しました。また、下記の取り組みを通じて、安全・安心のある大会運営を進めてまいります。

【ご来場みなさんに やさしい取り組み】

○いつでも水分補給

- ・給水スポットにウォーターサーバー 8 台を設置し、無料でマイボトルに給水ができます。
- ・各会場において飲料を販売します。

陸上会場

飲食出展ブース

関連イベント会場（新潟市消防局）

自動販売機

新潟市産業振興センター（関連イベント会場）

飲食出展ブース・キッチンカー・自動販売機

○クーリングスポットで一休み

- ・各会場にクーリングスポットを設置します。

関連イベント会場（新潟市消防局）

2 階救命実習室及び 3 階講堂を一般開放します。どちらのクーリングスポットでも、訓練の様子をライブでご覧いただけます。

関連イベント会場（新潟市産業振興センター）

1 階展示ホール及び 2 階大会議室を一般開放します。1 階展示ホールには、大型モニターを設置し、訓練の様子をライブでご覧いただけます。従来、陸上会場で行っていた市民防災イベントを屋内展示ホールにて開催。

【選手やスタッフに やさしい取組】

○選手ファーストの大会運営

- ・式典の簡略化、訓練時間の見直しで開催時間を 45 分短縮。

○いつでも水分補給ができる体制

- ・参加隊員にポカリスエットアイススラリー（大塚製薬株式会社ご提供）を配布します。
- ・訓練待機テントまで飲料の持ち込みを可能とします。

○新たな熱中症対策資器材の導入による安全な環境を整備

- ・一部運営員には、ファン付きベストを配備して酷暑下でも快適に運営を行います。

○新たな取組による安全な環境を整備

- ・審判員は、従来、活動服の上衣を着用して審判業務を行っていますが、活動服の上衣を離脱させ、半袖又は長袖 T シャツにより、審判業務を行います。